令和
# 諏訪形令和かわら版
第37号
諏訪形自治会
会長　水石　康

## サツマイモの収穫と学童保育所「ふれんど」の子どもたちの収穫体験

諏訪形自治会では「自治会坪八事業」として、久保田忠男さん（現在は久保田文江さん）所有の農地を借用してきました。令和五年忠男さんのご逝去に伴い、「坪八事業農地」を田中地籍に移転しましたが、遊休農地の有効利用と地産地消を目的に「サツマイモの会（発起人宮下省二諏訪形まちづくり協議会会長、会員一五〇人）」を立ち上げ、さつま芋の栽培に取り組んでいます。

初年度はさつま芋一〇〇本を栽培、二年目の昨年度は「シルクスイート」「紅はるか」「紅あずま」各一〇〇本を植えました。

三年目となる今年度は、人気の高い「シルクスイート」一〇〇本「紅はるか」二〇〇本を六月初旬に植え付けました。

高温と雑草に悩まされましたが、十月十七本日、収穫の日を迎えました。また、昨年に引き続き、「学童保育所たんぽぽ分室ふれんどの」子どもたちにも芋ほりを楽しんでもらいました。

やや天候が安定しない時期で心配されましたが、当日は好天に恵まれました。まず、「サツマイモの会」の会員、十人ほどで収穫作業を行いました。また、土をほぐして、子どもたちがイモを掘り出しやすいようにしておきました。

四時過ぎ、小学校一年生から六年生までの二一人の子どもたちが芋掘り体験にやってきました。四年生と五年生は別な行事への参加ということで、今回は欠席です。

子どもたちは大きく育ったサツマイモを掘り出し「でか～い」「三個もついている！」と楽しそうに掘り出していました。二年生の女の子は「去年もやったけど、とても楽しかった」と話してくれました。

収穫した芋はたくさん持って帰っていただきました。この後、焼き芋大会の材料や学童保育所のおやつなどになるのでしょうね。

この活動の様子は上田ケーブルビジョンでも取材していたので、後日放送されると思います。また、収穫したサツマイモは一一月二二日（土）に開催される「JA城下青空市場」でも販売されます。

投稿：サツマイモの会　宮下修身さん

## 金窓寺川周辺の草刈りを実施しました

九月二十八日（日）、毎実施されている「金窓寺川周辺草刈りと沈砂池のゴミ除去」の作業を行いました。金窓寺川は普段はあまり水も流れていない小川ですが、いったん大雨になるとたいへんなことになってしまう、なかなか面倒な河川です。そのため、毎年二回行われているこの作業は地域の安全を守るための大切なものです。今回は自治会協議員、生活環境部員の皆さんに加えてボランティアの皆様など二十名ほどの皆さんにご参加いただきました。

毎回ご参加いただいている方が多く、春の草刈り同様、勝手知ったる場所での草刈り、草刈りした草の集積など慣れた手つきで作業して頂き、当初の計画どおりに無事終了することができました。

この草刈り作業は毎年、春秋二回行っています。安全で安心な日々の暮らしを守っていくためにも、もっともっとたくさんの皆さんに自治会のこのような活動を知っていただき、少しずつでも手を貸していただけたらありがたいです。皆さんのご参加をよろしくお願いします。

## 諏訪神社のシーソーが使えるようになりました

諏訪神社内公園にあるシーソーが壊れて使用できなくなっていることを、三月の「かわら版」でお知らせしました。

上田市公園管理事務所にお願いして、「今年度の予算で修理対応」との話でしたが、九月末日に壊れていたスプリングの交換作業が行われ、利用できるようになりました。皆さん、また大切に、おおいに利用してください。

（写真手前のシーソーがスプリング交換修理したものです）

投稿：自治会地域部長　相田賢治さん

## 『諏訪形誌を歩く―続・諏訪形誌―』が発刊されます

本年末で、諏訪形誌活用委員会（柳澤公一委員長）の活動が終了します。五年前、『諏訪形誌』を発刊した時「せっかく作ったものをこのまま眠らせてはもったいない」ということから、『諏訪形誌』の利用を目的として設置した委員会でしたが、イベントなどにたいへん多くの皆さんのご参加をいただきました。たいへんありがとうございました。

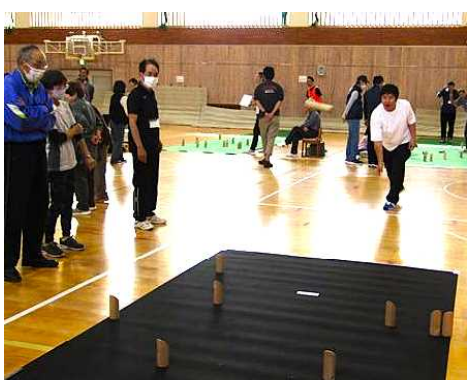
委員会の活動の中でいろいろと新しいこともわかってきました。また、記録として残しておきたいことも多く見つかりました。実際、『諏訪形誌』の発刊について、ある地区の人で「うちもやりたかったけれど、もう無理だな」と話していました。また、私たちももう少し上の世代の方々にお話を聞くことができたらおもしろかっただろうな、と思うことも多々ありました。そのようなこともあって、現時点で残せるものを次の世代に残していこう、ということで『諏訪形誌を歩く―続・諏訪形誌―』を発刊することになりました。

発刊に当たって、きちんとした「本」として作るというプランもあったのですが、いかんせん、費用がまかなえないので、委員が印刷し、簡易的に製本しての発行となります。皆さんにもお読みいただきたいということで、実費（三〇〇円）でお届けすることになっています。注文方法などについては自治会の回覧物をご参照ください。

## 城南公民館主催　ニュースポーツ体験交流会で諏訪形Bチームが見事総合優勝！

城南公民館では、城南地区運動会に代わるイベントとして、昨年からニュースポーツ体験交流会を開催しています。今年は「モルック」というニュースポーツのを取り上げ、簡単な講習を受けてからいきなり試合に入りました。

「モルック」は、プレーヤーが「モルック」と呼ばれる木製の棒を投げて、数字の書いてある木製のピンを倒して得点を競うゲームです。倒した得点がちょうど五〇点になると勝ち、五〇点を超えてしまうと二五点にまで減点されることになっています。試合時間は二〇分で、五〇点を取っていない場合は二〇分経過時点の点数で勝ち負けが決まります。



全部で一六チームが四試合試合ずつを行って優勝を目指して競いました。諏訪形Aチーム（山口武敏副公民館長、柳沢岳主事、久保田澄枝会計部長、稲垣美恵協力員）は二勝二敗と健闘。そして諏訪形Bチーム（徳嵩雄一専門部長一家）は見事四戦全勝で優勝しました。ほかにも四戦全勝のチームがあったのでしょう。表彰式では「どうして諏訪形Bチームが優勝なのか説明しください。」と質問がありましたが、「四試合すべてで五〇点ということで、パーフェクトです。」との答えに全員納得でした。

諏訪形チーム全員が初体験という中での快挙には、ビックリするやら嬉しいやらの一日となりました。

投稿：諏訪形公民館長　稲垣康史さん